

リウマチセンターだより

第2回リウマチ教室を開催して

平成 25 年 11 月 16 日(土)大学病院センター棟 4 階大会議室において、獨協医科大学病院リウマチセンター主催のリウマチ教室を開催いたしました。天候にも恵まれ、第 1 回リウマチ教室開催時より参加希望者が非常に多く、会場が満席となりました。

近年、関節リウマチは、生物学的製剤の登場により疼痛緩和を中心とした対処療法から、関節破壊を止め寛解を目指せるように治療方針が大きく変わりましたが、リウマチ治療の 4 本柱(①基礎療法 ②薬物療法 ③外科的療法 ④リハビリテーション)は不変であります。そこで、患者さんや家族にリウマチについて知識を身につけていただくことを目的に第 2 回の開催となりました。

リウマチセンター長の玉井和哉教授より開校式の挨拶に引き続き、前澤玲華先生から「リウマチの検査のみかた」についてご講演いただき、次に小生が「リウマチのリハビリテーション」について自宅でできる運動療法を参加者と一緒に行いました。また、リウマチ友の会の方々に「体験談」の講演と自助具の展示をしていただき、健者では気付かない、ちょっとした日常動作が困難であることに自助具はとても有効だと痛感いたしました。そして、副センター長の倉沢和弘教授より閉校式の挨拶をいただき、次回開催に向けてのアンケート記入をお願いし無事終了となりました。

最後に、第 2 回リウマチ教室の開催に当たり、ご支援、ご協力いただきました関係者の皆様に紙面をお借りしてお礼申し上げます。

リウマチセンター リハビリテーション科 島袋久弥



リウマチの治療の進歩

リウマチセンター 前澤玲華

私が病院実習を行っていた 1995 年のことです。罹病歴の長い関節リウマチの方を受け持ったのですが、当時は内科で行えるリウマチ治療の選択肢はあまりに少ないものでした。その後リウマトレックス®が保険適応となり、そして生物製剤が承認され、やっと内科もリウマチ治療を行うことができるようになりました。リウマチ診療に携わる医師として、治療の進歩とともに歩むことができました。

薬が進歩したとはいえ、関節リウマチは難治性の疾患です。リウマチセンターを中心に、内科・整形外科・リハビリテーション科で協力し、メディカルスタッフの力を借りて、よりよい診療を行いたいと思います。

第 40 回公益社団法人

日本リウマチ友の会栃木支部大会が開催されます。

日時 平成 26 年 6 月 29 日(日)

場所 宇都宮市文化会館 3 階 第 1 会議室 入場無料

第 2 回リウマチ教室で好評だった「検査値のみかた」「リウマチのリハビリテーション」をもう一度お届けします。

自助具展示も行います。詳細はリウマチ友の会栃木支部にお問い合わせください。

編集後記

第 2 回リウマチ教室の資料のコピーをご希望の場合は外来の受付にお声かけください。

今年もリウマチ教室、講演会を企画しています。

よろしくお願いいたします。